

経験に学び、経験を活かす！

プロジェクト現場において、現在使用されている方法は最適な方法でしょうか？従来から、コスト、品質、納期の問題が取り上げられていますが、現在でも同じような状況が続いてはいないでしょうか。

私たち PM 学会九州支部は、プロジェクトの様々な問題を解決するための分析や解決、導入の手法等に関する研究活動を継続的に行っています。本シンポジウムでは、経験に学び、経験を活かすをテーマとして掲げ、熊本大分地震の直後から主に産業復興支援に携われた方をお招きしての基調講演、および、日頃の活動成果を実践的な演習を通じてご紹介するワークショップを開催致します。

- **開催概要** 平成28年12月5日(月) 定員70名 (先着順受付)
 - ① 受付 12:30～13:00
 - ② シンポジウム 13:00～18:00 (参加無料)
 - ③ 交流会 18:30～20:00 (参加費 3,000円/人)

- **会場** 福岡市博多区博多駅前1丁目17番21号
 NTTDATA 博多駅前ビル 地下1F会議室
 (交流会：一本槍 福岡市博多区博多駅前 1-14-2)

- **内容詳細** *裏面参照
- **申込み** 電子メールで、【ご氏名】、【ご所属】、【メールアドレス】、【懇親会参加の有・無】、
 【PDU 証明書の要・不要】を下記アドレスにお送りください。
 送付先: pmk-sympo-entry@pmk.minnie.ai.kyutech.ac.jp
- **その他** PDU 発行対象のシンポジウムです。
 どなたでも、ご参加いただけます。

- **問合せ先** 【主催】プロジェクトマネジメント学会九州支部
 事務局 (担当：井本、片峯)
 e-mail : pm-kyushu@pmk.minnie.ai.kyutech.ac.jp



アクセス

JR 博多駅を降りて博多口より福岡交通センタービル方面へ徒歩5分
西鉄イン博多の隣り

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目17番21号
TEL(092)475-5109
HP <http://www.nttdata-kyushu.co.jp/>

《ビル入館についてのお願い》

NTT DATA博多駅前ビルの入館においてはセキュリティチェックを行っております。そのため、下記の情報媒体の持ち込みは申告が必要となります。

可能な限り情報媒体の持ち込みはご遠慮ください。(持ち込みには申告(入館時に書類を提出いただきます)が必要です。)

・パソコン、カメラ、CD、MO、HDD、USBメモリ、その他外部記憶装置

当日の進行と講師陣

【シンポジウム】

- | | | | | |
|---|-------|-------------|---------------------|---------|
| 1 | 開会の挨拶 | 13:00~13:05 | 九州支部 支部長 | 梅田 政信 氏 |
| 2 | 基調講演 | 13:05~13:55 | 九州経済産業局産業部産業課復興推進室長 | 今村 芳仁 氏 |

◆熊本地震への対応と今後の展望について

熊本県における産業被害や九州経済への影響をお伝えするとともに、九州経済産業局でどんな対応を行ったのかをご説明し、今後の展望等についてご紹介させていただきます。

☆☆☆ 休憩 ☆☆☆ 13:55~14:05

- | | | | | |
|---|-----|-------------|-------|--------|
| 3 | 講演1 | 14:05~15:35 | 製造系WG | 堀川 恵 氏 |
|---|-----|-------------|-------|--------|

◆超発想法“TRIZ”

プロジェクトを遂行する上では様々な矛盾を含む課題があり解決するには多大のエネルギーを注ぐことになります。PM製造系WGではこの課題の明確化や解決法についての研究に取り組んでいます。その効果的な方法は考えをどう導いていくか「思考法」がカギとなります。その課題解決の手法に特許の分析から作られた「TRIZ」を取上げ活用の道を探っています。

本講義ではTRIZの概要説明に加え、グループ毎のディスカッションもして、その効果の程を体験して頂きます。

☆☆☆ 休憩 ☆☆☆ 15:35~15:45

- | | | | | |
|---|-----|-------------|--------|---------|
| 4 | 講演2 | 15:45~17:15 | TOC-WG | 朝稲 啓太 氏 |
|---|-----|-------------|--------|---------|

◆WG活動を通して開発したCCPMの理解を促進させるゲームシミュレーション

CCPMに関する方法論や文献は広く紹介されています。その一方、適用されている事例は限定的であり、適用を困難にしている大きな要因は、現場のメンバーにCCPM導入の効果が理解されないことです。そこで、WG活動を通してCCPMの導入効果のエッセンスを現場メンバーから上級管理職まで理解してもらうためのゲームシミュレーションを開発することにしました。開発したシミュレーションの特徴は、プロジェクトをマネジメントする上で障害となる変動要素(突発作業対応やプロジェクトの課題対応など)を織り込んだ点です。

今回、このゲームシミュレーションを実演習を通して紹介します。

☆☆☆ 休憩 ☆☆☆ 17:15~17:25

- | | | | | |
|---|-----|-------------|--------|---------|
| 5 | 講演3 | 17:25~17:55 | SPI-WG | 梅田 政信 氏 |
|---|-----|-------------|--------|---------|

◆SPI-WG活動報告

情報通信サービスへの要求は次第に複雑化、高度化し、高品質なソフトウェアを予算内で短期間に実現することがますます困難となっています。ソフトウェア開発が直面するこのような課題を解決するには、エンジニアリングとプロセスの両面でのアプローチが必要です。このワーキンググループでは、主にソフトウェアプロセスの面から、ソフトウェア開発を担う技術者、およびそのマネジメント層に期待される知識とスキルについて、開発現場の実情を踏まえながら深く掘り下げ、その研究成果の共有と発展、普及を図る活動を行っています。

本シンポジウムでは、約1年間に渡る活動内容と今後の活動方針をご紹介します。

- | | | | | |
|---|-------|-------------|-----------|---------|
| 6 | 開会の挨拶 | 17:55~18:00 | 九州支部 副支部長 | 足立 國功 氏 |
|---|-------|-------------|-----------|---------|

【交流会】

18:30~20:00 場所:一本槍

福岡市博多区博多駅前1-14-2

TEL (092)441-9700